

初めての女性消防団ネットワーク会議開催

—女性消防団員の増員と活性化を目指して—

本年度の県からの委託事業の一つである女性消防団ネットワーク会議が、十月三十一日に秋田市で開催された。当日は、県内女性消防団員・消防長・消防団長のほか、青森県五戸町女性消防団員からも参加を得て、総勢六十数名が女性消防団員のなお一層の増員と活性化を目指して議論を展開した。

冒頭の主催者あいさつで、中泉協会長は、「全国的に消防団員減少の中で、女性団員は着実に増加し、全国で一万人を超え、本県も一二四名に達した。これは、消防団活動の中で応急手当の普及・高齢者家庭の防火訪問・防災教育など女性消防団員の活動分野の拡大などが背景になっている。本県は、採用消防団員数ともに全国的に下位なので、なお一層の増員と活性化が必要」と述べた。

このあとの講演は、青森県五戸町消防団の川崎由希子氏が、「ポジティブな心でみよう 新たな発見、まわりにいっばい!!」と題して自らの消防団入団のいきさつや全国



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)
発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中泉松之助
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
E-mail:ask@biscuit.ocn.ne.jp



講演をする青森県五戸町消防団の川崎由希子氏

女性操法大会出場、全国女性消防団活性化大会での事例発表などの体験から、「日ごろからポジティブにすこし、仲間とともに行動すれば、女性消防団の活性化を促す素材はいっぱいある。共に頑張ろう。」と語った。

講演後の「これからの女性消防団活動について」と題したパネルディスカッションは、土館隆司氏(秋田市消防本部消防次長をコーディネーターに、川崎由希子氏(青森県五戸町消防団班長)、板垣英雄氏(にかほ市消防団長)、金子咲子氏(三種町消防団班長)、三浦由美子氏(にかほ市消防



パネルディスカッション

団員)、渡部留美子氏(大館市消防団員)の五名のパネラーによって行われた。女性消防団員の現状の活動を踏まえ、これからのあり方について、「女性ならではの活動で存在感を示す必要がある。」「女性団員の活動の拡がりに対応するためには救命救急などのスキルアップが必要。」など、いろいろな角度からの議論があったが、結論としては、川崎由希子氏の主張するように、



会場との意見交換

女性消防団員一人ひとりがポジティブな視点で自らの活動をみつめ、そして実践してゆけば、おのずと活性化や今後の増員につながってゆくのではないかと結んだ。

今回のネットワーク会議は、県の委託で行われたが、来年度以降もなんらかの形でこのネットワーク会議の輪をくずすことなく、むしろ輪を広げるためにも事業を継続してゆく必要がある。

平成二十年度全国統一防火標語
『火のしまつ 君がしなくて 誰がする』

印刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760

平成二十年 秋田県 秋の火災予防運動

秋田県では、火災が発生ししやすい時季を迎え、火災予防思想の一層の普及を図るとともに、火災発生防止によって高齢者等の死者の減少、財産の損失を目的に十一月二日(日)から八日(土)までの一週間を秋の火災予防運動実施期間とし、

- (一) 住宅火災対策の推進
- (二) 放火火災、連続放火火災防止対策の推進
- (三) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (四) 林野火災予防対策等の推進

また、家庭・職場・地域での各々の推進項目を示すとともに、市町村及び消防本部は、広報活動・立入検査・消防用設備等の点検整備・訓練などを積極的に推進するよう示した。以下は、全県各消防本部での火災予防運動である。

鹿角広域行政
組合消防本部管内では、鹿角地区で早朝から消防団の火災想定訓練、消防車両による防火パレード、自治体単位の住民防火運動が行われた。このうち、鹿角



大館市消防本部管内では、運動初日に住民参加による想定訓練を実施し、避難訓練、AEDの使用方法の説明、住宅火災警報器の説明、消火器による消火訓練などを行っ

たほか、女性消防団員による住宅用火災警報器設置を呼びかけるチラシの配布などを行った。また、期間中、警戒広報、独居高齢者宅などの防火診断を実施した。



北秋田市消防本部管内では、秋の火災予防運動初日となる十一月二日、北秋田市婦人消防隊により管内大型店舗、道の駅な

ど五箇所において住宅用火災警報器設置促進のチラシを配布した。

能代山本広域市町村圏組合消防本部管内では、防火パレード、高齢者世帯の防火訪問、住宅用火災警報器の設置広報、消防美術展などの普及啓発を主とした各種火災予防運動を展開した。なかでも、能代消防署を会場とした「119消防ふれあい広場」は、幼稚園児によるオープニングセレモニーで開幕。救助訓練の公開、消防乗車体験、消火及び救助体験などが多くの親子連れで賑わった。



五城目町消防本部管内では、五城目町広域体育館で開催された消防展フェアで、来場者を対象とした救急講習会のほか、子供用消防制服での記念撮影、放水体験、消防車・救急車の展示、試乗体験などを実施し、多くの家族連れで賑わった。また、昨年に引き続き、消防団教養研修の一環としてAEDを使った救命講習会を実施するとともに、一般家庭の予防査察、町内会を単位とした消火訓練等を行い、火災予防の指導を行った。

水体験、消防車・救急車の展示、試乗体験などを実施し、多くの家族連れで賑わった。また、昨年に引き続き、消防団教養研修の一環としてAEDを使った救命講習会を実施するとともに、一般家庭の予防査察、町内会を単位とした消火訓練等を行い、火災

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182) (32) 3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シパウラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp

トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋田県代理店

株式会社 高 義 商 会

- (営業種目)
- トーハツ小型動力ポンプ
 - モリタ自動車ポンプ
 - エンジンポンプ
 - 消防被服全般
 - 消火器各種
 - 消防器具各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183) (42) 2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183) (73) 2588



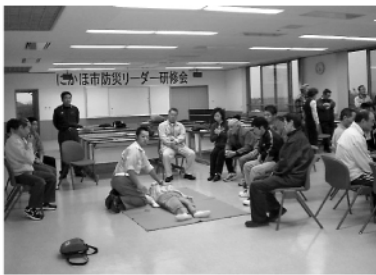
全国消防イメージキャラクター『消太』

など約五〇〇名が訪れて賑わいをみせた。人気は、高所放水車とミニ消防車の乗車に順番待ちの列ができるほどであった。また、住宅用火災警報器の普及促進のため、警報器の展示やパンフレットの配布などでPRを行った。



男鹿地区消防本部管内では、秋の火災予防運動に併せて、「消防ふれあい広場」を開設した。消防車両の展示、乗車体験、記念写真、心肺蘇生法やAEDの講習等に親子連れ

湖東地区消防本部管内では、防火意識を高めるために一般家庭への予防査察、高齢者・独居老人家庭への巡回指導を行い、ホームタンスの維持管理、火災予防の指導や住宅用火災警報器の普及PR用広報紙等の配布を行った。



にかほ市消防本部管内では、自主防災リーダー研修会や分団幹部研究会において普通救命講習、住宅用火災警報器設置をPR。また、分団幹部研究会で各集落での火の元

由利本荘市消防本部管内では、期間中、本荘地域の川口地区で市民の参加協力のもと防災訓練を実施。また、松ヶ崎保育園児の町内防火パレードなども実施した。



秋田市消防本部管内では、火災予防運動の初日の十一月二日を主として、「住宅用火災警報器普及キャンペーン」、「二日消防署長」、「親子で消防体験」の啓発イベントを開催した。このうち、「二日消防署長」では、「あきた観光レディ」を署長に迎えて、火災実験や各種訓練を市民にPRした。



湯沢雄勝広域消防本部管内では、期間中の朝七時・夕方五時のサイレン警鐘、防火垂れ幕、防火ポスター等の掲示、広報車による防火宣伝、機械器具の点検、一般家庭の防火指導、駆け付け訓練などを実施した。

横手市消防本部管内では、横手消防署増田分署が、火災予防運動初日の十一月二日(日)に増田ふれあいプラザで行われた「増田地域じまん市」に協賛して、消防車及び救急車の展示、消防車の放水体験、消防子供服の展示、AEDの使用方法の展示、住宅用火災警報器の展示などのイベントを通して、消防への理解と火災予防の普及啓発を図った。



大曲仙北広域消防本部管内では、十一月八日に大仙市長野の大型店において、アンケート調査とチラシ配布をして住宅用火災警報器の設置促進をPR。また、子供用の消防制服を着用した記念撮影などを行い、火災予防を呼びかけた。査察、消防水利の確認と点検を行った。



森田ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

ラビットポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 協立
株式会社 能代消防センター

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6361
(52) 6494

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目10番9号 TEL 018 (863) 1551(代)
猿田興業ビル7F FAX 018 (824) 3651

消防団員のいる事業所へ表示証を交付

— 能代市が消防活動協力に感謝！ —

能代市は、消防団員のいる事業所に、「消防団協力事業所表示制度」による表示証を交付した。交付式は、十一月七日に能代消防署において齋藤能代市長から市内七事業所の代表者に表示証を手渡した。

能代市は、このような事業所との協力体制構築により団員の活動環境を整えて団員増加に結びつけたいと考えている。

この度の表示証は、従業員の相当数が入団している事業所、消防団員活動に積極的な配慮に取り組んでいる事業所七社からの申請に基づき市長が認定して交付したものであり、県内では今年四月の大仙市に次いで二番目となる。交付された事業所は、次の七事業所である。

- ・ あきた白神農業協同組合
- ・ 中田建設株式会社
- ・ 能代運輸株式会社
- ・ 山一興業株式会社
- ・ 白神森林組合
- ・ 株式会社原田紙店
- ・ 合名会社西村醸造店



能代市事業所表示証の交付

平成20年度 秋の叙勲・第11回危険業務従事者叙勲

永年にわたる消防功労で、平成20年度秋の叙勲を受けられた16名と、第11回危険業務従事者叙勲を受けられた7名の方への知事伝達式が、平成20年11月4日(火)午後1時30分から秋田県庁で行われた。

また、両叙勲受章者への消防庁長官による伝達式は、秋の叙勲受章者へは11月6日(木)に東京都のニッソーホールで、第11回危険業務従事者叙勲受章者へは11月14日(金)に東京都の日本青年館大ホールで、それぞれ行われ伝達式終了後には皇居で天皇陛下による拝謁があった。受章者の皆様、誠にありがとうございます。

秋の叙勲受章者

(消防功労者…十六名)

瑞宝小綬章

一名

- 元 大曲仙北広域市町村圏組合 消防正監 富樫俊悦

瑞宝双光章

三名

- 元 森吉町消防団 団長 北林照吉
- 元 八峰町消防団 団長 佐々木宣幸
- 元 山本町消防団 団長 信太 佐治夫

瑞宝单光章

十二名

- 元 大館市消防団 副団長 和田義一
- 元 湯沢市消防団 副団長 越後谷弘
- 元 秋田市消防団 分団長 谷々兼一
- 元 横手市横手消防団 副団長 伊藤鐘吉
- 元 東由利町消防団 副団長 小松正幸
- 元 雄勝町消防団 副団長 齋藤堅二

危険業務従事者叙勲受章者

(消防功労者…七名)

- 元 皆瀬村消防団 分団長 佐藤修三
- 元 男鹿市消防団 分団長 鎌田安八
- 元 南外村消防団 分団長 佐藤菊治
- 元 田沢湖町消防団 副団長 佐藤謙一郎
- 元 西木村消防団 分団長 石川静平
- 元 大森町消防団 分団長 鈴木勇三

瑞宝双光章

七名

- 元 大館周辺広域市町村圏組合 消防監 鳴海正富
- 元 本荘地区消防事務組合 消防監 稲田孝次
- 元 湯沢雄勝広域市町村圏組合 消防監 渡部豊治
- 元 横手平鹿広域市町村圏組合 消防監 新森陽一
- 元 大曲仙北広域市町村圏組合 消防監 高橋光風
- 元 五城目町 消防監 一ノ関信伽
- 元 本荘地区消防事務組合 消防司令長 石川馴二